

2025年度

ニチイキッズ松本寿保育園 自己評価総括表

地域社会における保育施設として、その運営や保育内容について、自らの保育実践を振り返り、自己評価を行いましたので、その結果を以下の通り公表いたします。

また、本自己評価の結果を踏まえ、今後も更なる専門性の向上や保育実践の改善に努め、より一層質の高い保育の実践を目指してまいります。

評価方法		
保育士等（全職員）の自己評価	評価期間	2026年1月10日（金）～1月31日（金）
	実施方法	全職員に自己評価について趣旨を説明し自己評価を実施した。
保育施設の評価	評価日	2026年2月13日（金）
	実施方法	話し合いにより職場全体で共有し、保育施設の課題を明確化し、改善策を検討した。

項目ごとの評価	
保育理念	「おもいっきり遊ぶ おもいっきり学ぶ」の保育理念のもと、子どもが自ら遊びを選択でき、おもいっきり遊べる環境作りに努めた。遊びの中で子ども一人ひとりの気づきや学びを大切に、子どもの気持ちに寄り添うよう意識して保育をするよう心掛けた。
子どもの発達援助	子どもの発達、援助は一人ひとり違うので個々の発達過程を踏まえ、子どもが安心感、自己肯定感を持てる援助を心がけてきた。自己肯定感が個々の発達の次のステップにつながるよう引き続き職員全員で見守り、援助をしていきたい。
保護者に対する支援	保育参加や親子ふれあい遊びを行い、実際に来園していただいて園での子どもの様子を見ていただくことができた。日々の子どもの様子を連絡帳や降園時に伝え、成長を共有することができた。
保育を支える組織的基盤	月一回の園内研修は学びたいことを職員で決めて行い、スキルアップを図った。次年度、研修で学んだ内容を保育に活かし、更なる質の向上を目指したい。外部研修も積極的に参加したい。

総評
各クラス、今、目の前の子どもたちの気持ちに寄り添うにはどうすればよいかを考えながら保育をしてきた。寄り添いつつ、こんな場面ではどうすればいいか、こういうときは友だちとどう関わればいいのか、ということ丁寧伝えることを意識してきたことで、子どもたちも納得したうえで気持ちの切り替えができるようになったり、友だちとの関わり方を知ることができた。次年度に向けては、「子ども主体の保育」とはどんな保育なのかを今の子ども姿を見取りながら職員全員で考え、子どもが育つ手助けとなるような保育を心がけていきたい。